

合同ワークショップ プログラム (案)

題名 「水を巡る諸問題に関わる自然科学と社会科学の融合研究の可能性」

場所 名古屋大学 環境総合館3階 講義室3

日時 2011年7月28日(木) 14:00-18:30 (懇親会 19:00-)

趣旨：流域の人間社会および、それを取り巻く自然生態系は、流域水循環の基盤であり、水に関わる諸問題を内包する。地球規模での気候変化とともに、近代化・現代化にともなう土地被覆の変化、産業構造の変化、また、それにともなう人々の環境意識の変化は、社会を含む流域生態系のあり方を変貌させる。本ワークショップでは、この流域生態社会のあり方を考えるための自然科学と社会科学の融合研究の可能性について討論を行う。

第1回となる本ワークショップでは、水量(洪水・渇水)や水質の変化に伴う様々な問題について、自然科学者と社会科学者が一体となって取り組んできたプロジェクトの関係者が相互の研究紹介を行い、自然科学的、社会的な方法論やスケール論、協働に向けた取り組みについて検討を行う。

14:00 開会 (総合司会・京大フィールド研・館野隆之輔)

14:00-14:40 森里海連環学—生態系のつながり、人と自然のつながり

(京大フィールド研・吉岡崇仁) (発表30分+質疑応答10分)

14:40-15:20 流域環境をどうデザインするか—住民と専門家の対話の試み

(京大フィールド研・大川智船) (発表30分+質疑応答10分)

15:20-16:00 水都再生に向けて

(名古屋大環境学・田中重好) (発表30分+質疑応答10分)

<休憩> 16:00-16:20

16:20-17:00 長江プロジェクトで目指したこと、水循環から何が分かるか?

(名古屋大 HyARC・田中広樹) (発表30分+質疑応答10分)

17:00-17:40 中国における水資源利用の状況とその諸問題

(富山県立大工学・大西暁生) (発表30分+質疑応答10分)

17:40-18:30 総合討論 水問題について、方法論やスケールの問題、協働に向けて

(司会・京大フィールド研・館野隆之輔)

18:30 閉会

(19:00- 懇親会、慰労会)

※ 本研究集会は、地球水循環研究センター共同研究(研究集会)の経費にてサポートされます。

※ フィールド科学教育研究センター木文化プロジェクト共催